

○ 配付資料一覧表

木曽三川ふれあいセミナー 式次第

木曽三川ふれあいセミナーの進め方のルール

資料－1 「新丸山ダム建設事業」

資料－2 「木曽川水系連絡導水路事業」

ご意見用紙

※当日追加資料

・「NPO 法人 魅力発見木曽三川」 木曽三川の魅力を伝えたい！

木 曾 三 川 ふ れ あ い セ ミ ナ ー

式 次 第

日時:平成20年6月1日 10:30～12:00

場所: 桑名市長島防災コミュニティーセンター2F多目的室

1. 開 会

2. 挨 拶

3. セミナー

1) 木曾川水系河川整備計画の策定及び大規模な事業等の動向について

①木曾川水系河川整備計画の策定

②大規模な事業等の動向

- ・新丸山ダム事業
- ・木曾川水系連絡導水路

2) 川づくりに関する意見交換

4. 閉 会

ふれあいセミナーの進め方のルール

多くの参加者の皆様からご意見を伺うため、スムーズな進行にご協力をお願いします。

- ご意見のある方は挙手をして頂き、指名されてからご発言願います。
- 多くの参加者の皆様に発言して頂くため、ご意見は簡潔に発言願います。
- 特定個人に対する誹謗・中傷はしないようにお願いします。
- 他の参加者のご意見への批判、賛否の表明、拍手などはご遠慮願います。
- セミナー中の立ち歩きや会場への出入りは極力ご遠慮願います。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くかマナーモードにして頂くようお願いします。
- 個人的な写真撮影や録音はご遠慮願います。
- その他、進行の妨げとなるようなことはご遠慮願います。

これらのことにご協力頂けない場合には、ご退席して頂くことがありますので宜しくお願いします。

新丸山ダム建設事業

事業の目的

- 新丸山ダム建設の目的は以下の3つ。

①洪水調節

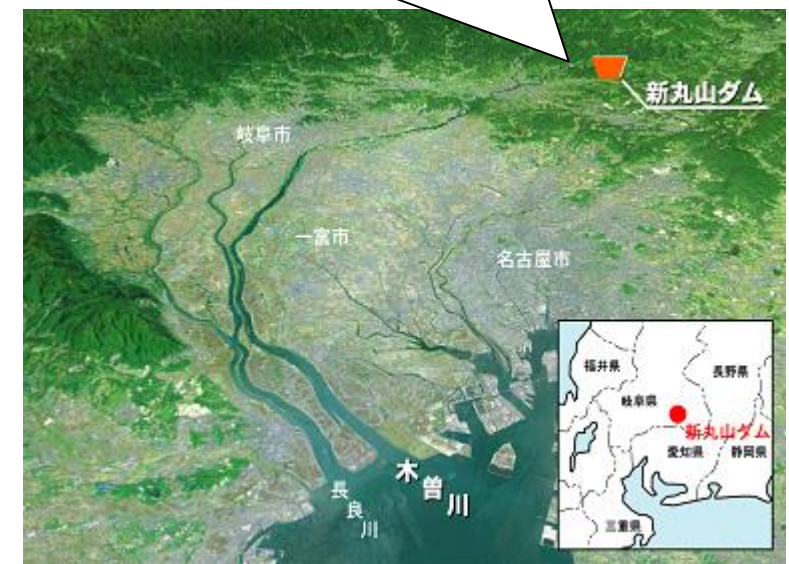
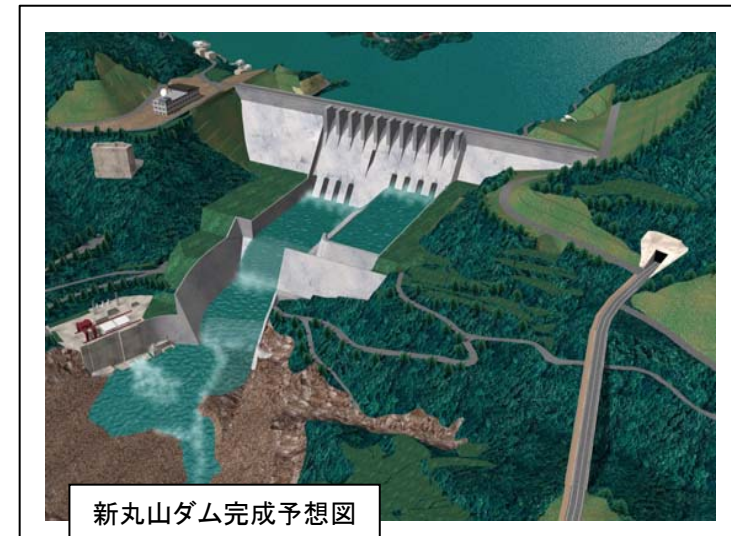
ダム地点の計画高水流量毎秒6,800m³のうち、毎秒2,100m³の洪水調節を行う。

②既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保

木曽川沿川の既得取水の安定化及び河川環境の保全等のために必要な流水としての容量1,500万m³を確保する。

③発電

関西電力株式会社の既設丸山・新丸山発電所において、新たな1,500万m³の貯水容量の確保により最大出力22,500kwを増電させ、最大出力210,500kwの発電を行う。



事業の経緯

・新丸山ダム建設の経緯



補償基準妥結調印式 (H4. 3)



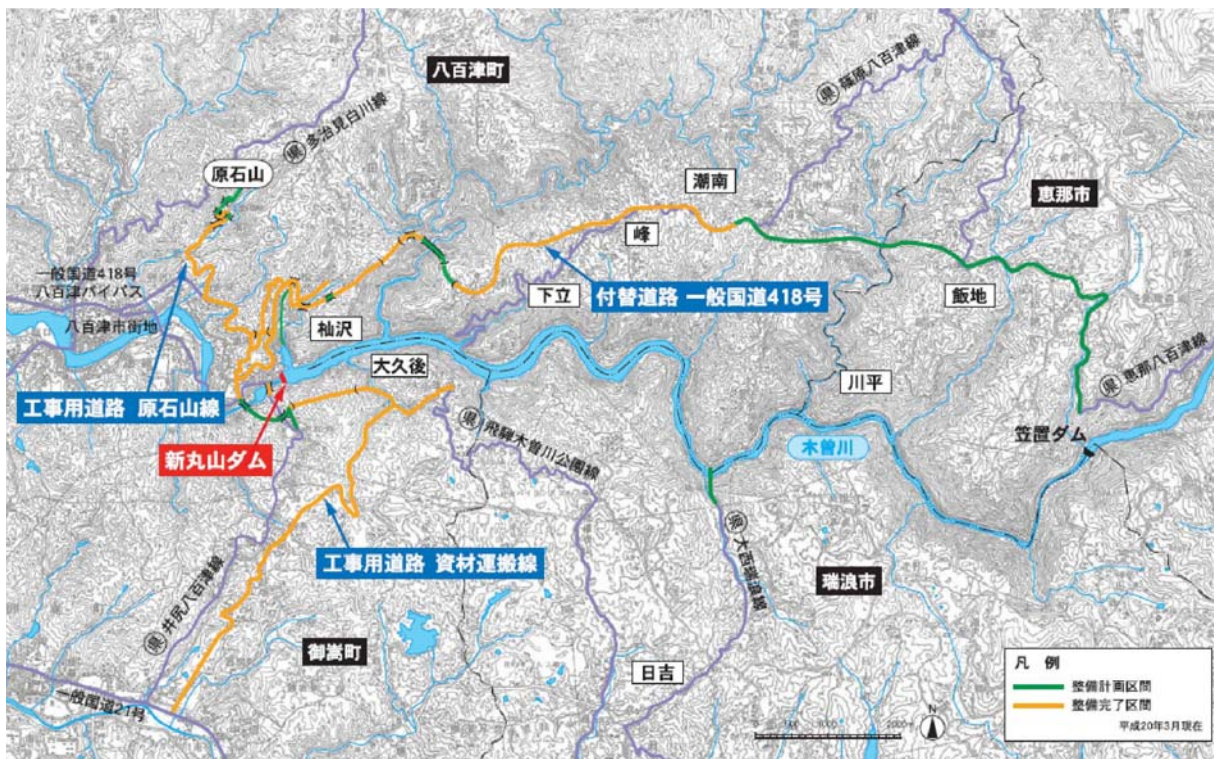
新旅足橋下部工完成 (H19. 2)

1956	昭和31年3月	丸山ダム完成
1980	昭和55年4月	実施計画調査着手
1983	昭和58年9月	台風10号による大災害（美濃加茂市等災害）
1986	昭和61年4月	建設事業着手
1990	平成2年5月	新丸山ダム基本計画決定
1992	平成4年3月	新丸山ダム補償基準妥結調印式
1992	平成4年8月	水没地用地買収に着手
1994	平成6年1月	水源地域整備計画決定
2000	平成12年12月	家屋移転補償契約が49戸全て完了
2003	平成15年7月	中部地方整備局事業評価監視委員会にて事業の継続が了承される
2005	平成17年6月	新丸山ダム基本計画変更（第1回）告示
2007	平成19年3月	付替国道418号新旅足橋上部工工事着手
2008	平成20年3月	工事用道路資材運搬線完成
2008	平成20年3月	木曽川水系河川整備計画策定

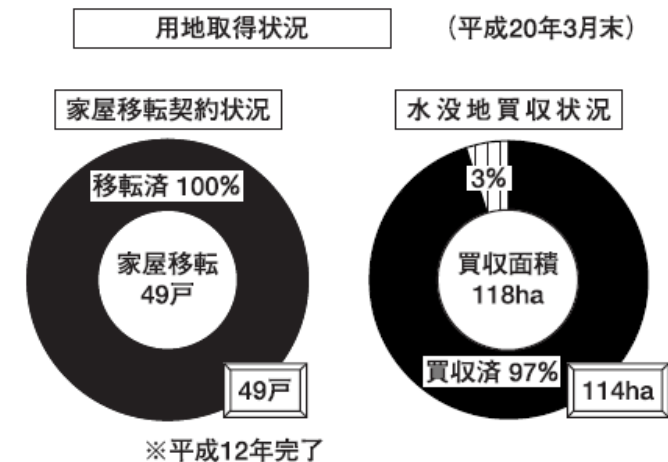
事業の進捗状況

- 新丸山ダム建設に伴う用地補償は、新たに貯水池となる用地の約97%を取得済み。家屋移転補償は全て完了。
- ダム本体工事の準備工である付替国道418号線は約52%、資材運搬線は約93%、原石山線は約84%の進捗率。

■主要道路の整備状況



■進捗率



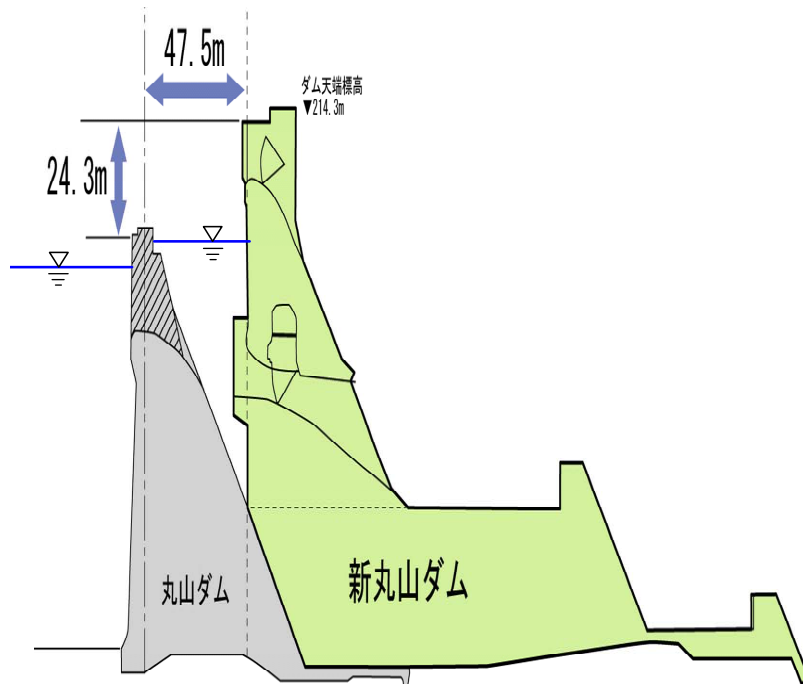
主な道路工事の整備状況

付替道路	一般国道418号	約52%
工事用道路	資材運搬線	約93%
	原石山線	約84%

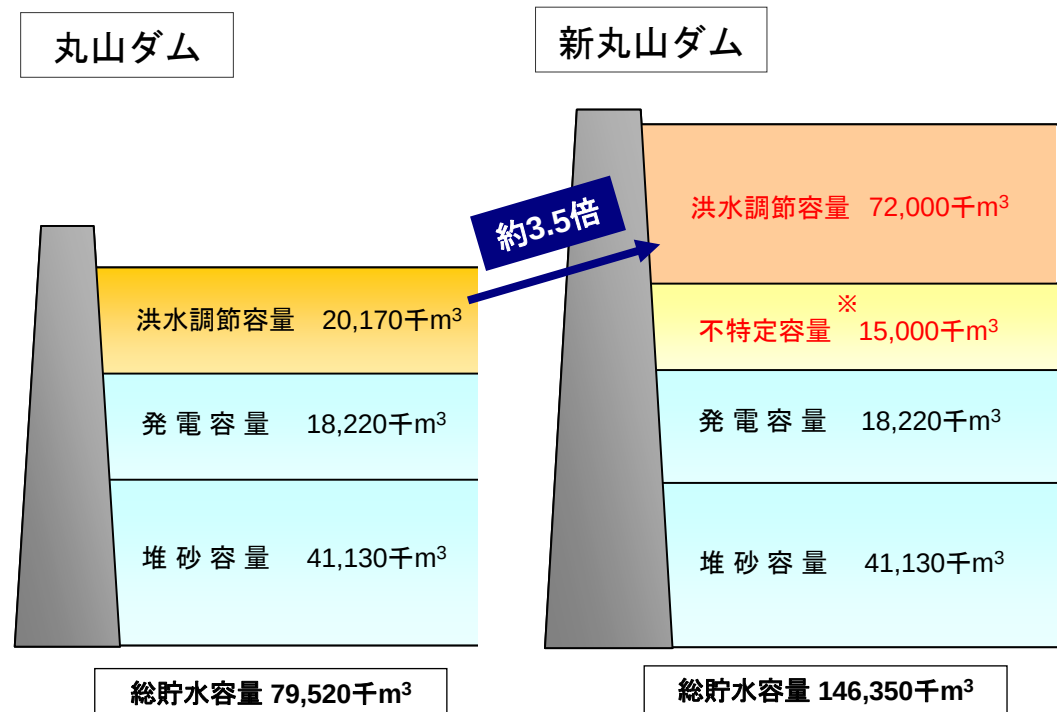
新丸山ダム案

- 新丸山ダムは、既設丸山ダムの下流47.5mの位置に、24.3m嵩上げして建設し、新たに6,683万m³の容量を確保。

■ ダム標準断面図



■ 貯水容量配分図

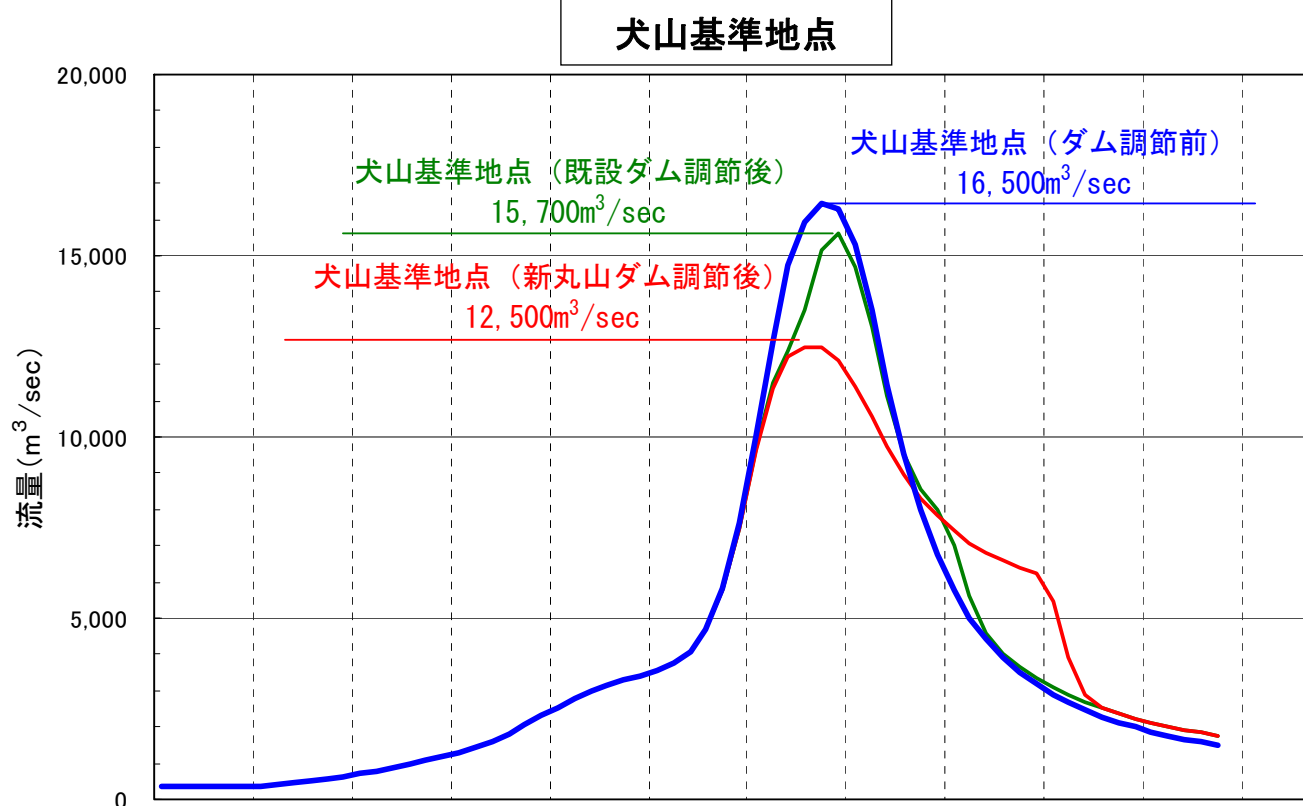


※ 不特定容量…既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保のための容量

河川整備計画の洪水調節計画

- 新丸山ダム建設と河道の整備により、河川整備計画の目標である昭和58年9月洪水を安全に流下させる。

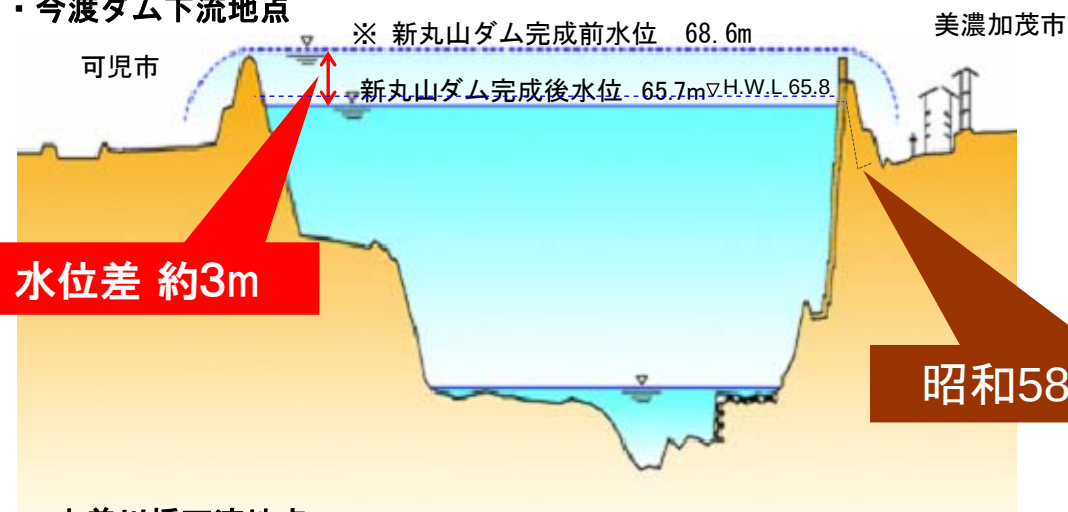
河川整備計画目標流量				
基準地点	対象洪水	ダム調節前ピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
犬山	昭和58年9月洪水	16,500m ³ /sec	4,000 m ³ /sec	12,500m ³ /sec



河川整備計画に対する治水上の効果

- 新丸山ダムの洪水調節効果(試算)は、美濃加茂市の今渡ダム下流地点で約3m、一宮市の木曽川橋下流地点で約1.5mの水位低下効果。

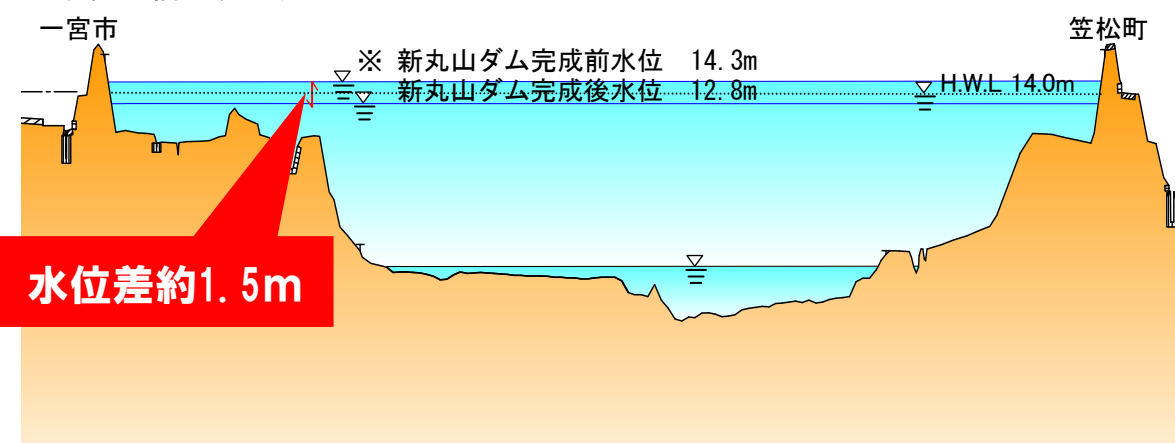
・今渡ダム下流地点



※ 新丸山ダム完成前水位68.6mは、木曽川の既存ダム（岩屋、阿木川、味噌川、丸山ダム）の洪水調節後の水位

対象洪水: 昭和58年9月(実績規模)
検討断面: 67.0k、平成14年度測量横断

・木曽川橋下流地点



※ 新丸山ダム完成前水位14.3mは、木曽川の既存ダム（岩屋、阿木川、味噌川、丸山ダム）の洪水調節後の水位

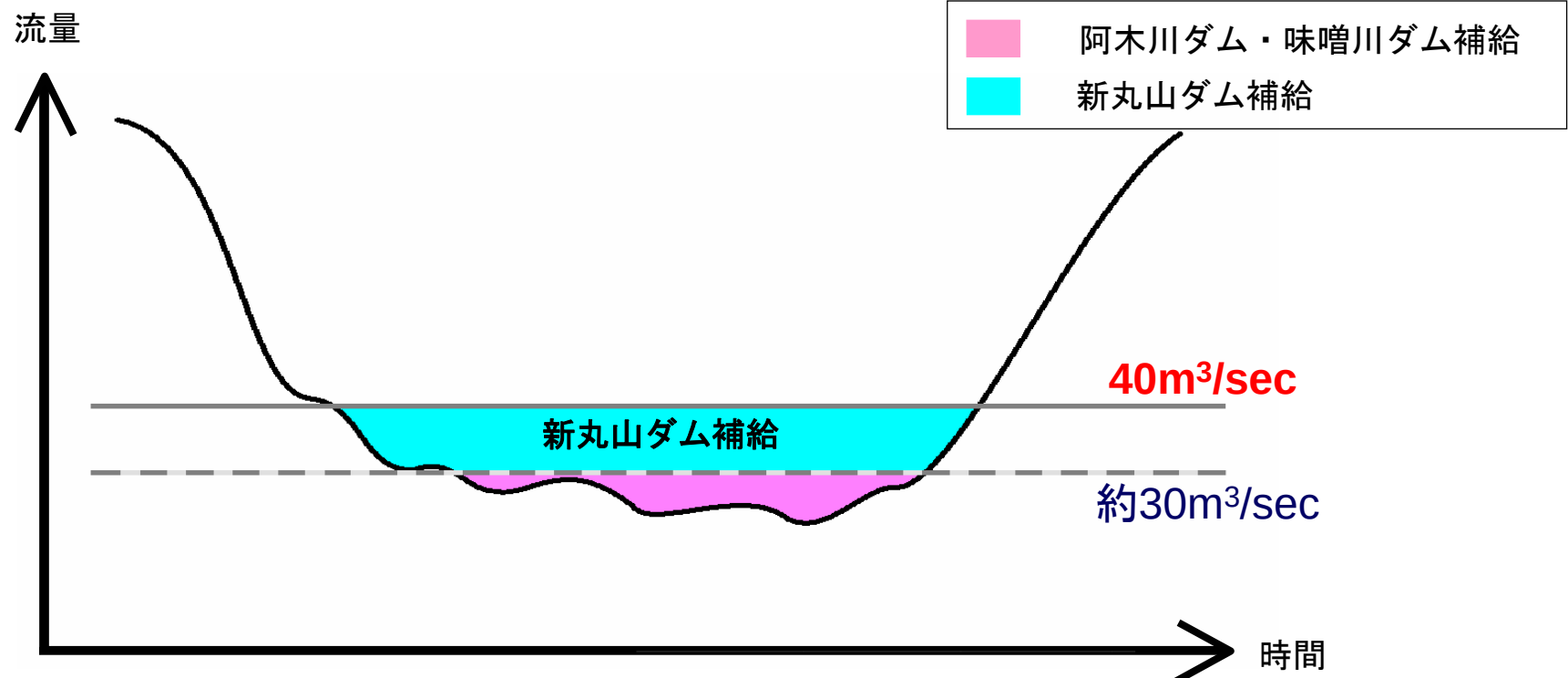
対象洪水: 昭和58年9月(実績規模)
検討断面: 39.6k、平成14年度測量横断

不特定補給計画

- 新丸山ダム建設により、1,500万 m^3 の不特定容量を確保し、1/10規模の渇水時においても、既設阿木川ダム及び味噌川ダムの不特定補給と合わせて既得取水の安定化を図り、木曽成戸地点において河川環境の保全のために必要な流量の一部である $40\text{m}^3/\text{sec}$ を確保。

既設の阿木川ダム・味噌川ダムにより、木曽成戸地点で約 $30\text{m}^3/\text{sec}$ の流量を確保

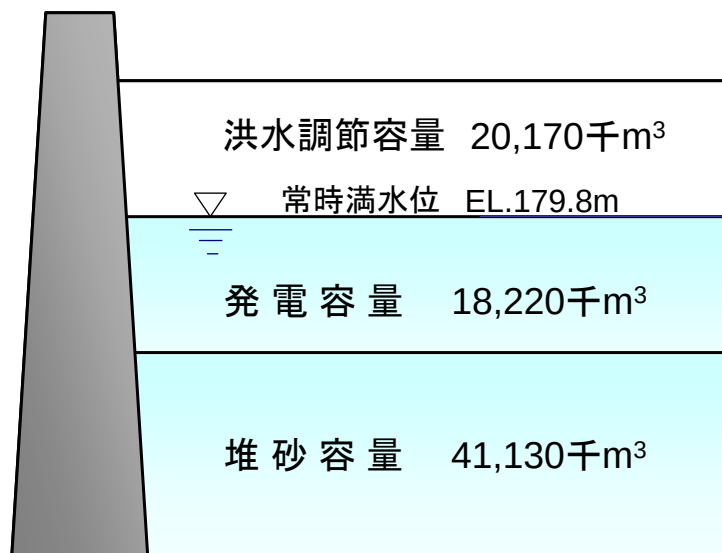
さらに新丸山ダムにより、 $40\text{m}^3/\text{sec}$ までの流量を確保



発 電

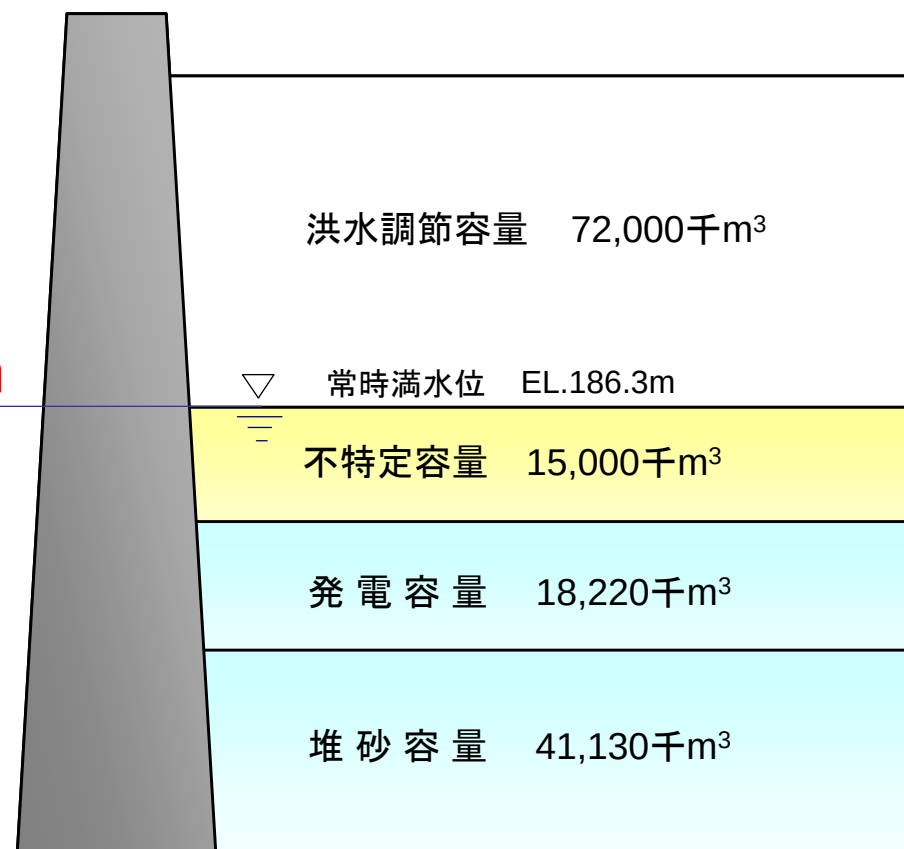
- 新丸山ダム建設により生ずる発電落差の増、最大6.5mを利用して、最大出力22,500kwの発生電力量を増強。

丸山ダム



新丸山ダム

6.5m



木曽川水系連絡導水路について

木曽川水系連絡導水路事業の計画概要

事業の目的

(1) 流水の正常な機能の維持(異常渇水時^{*}の緊急水の補給)

環境

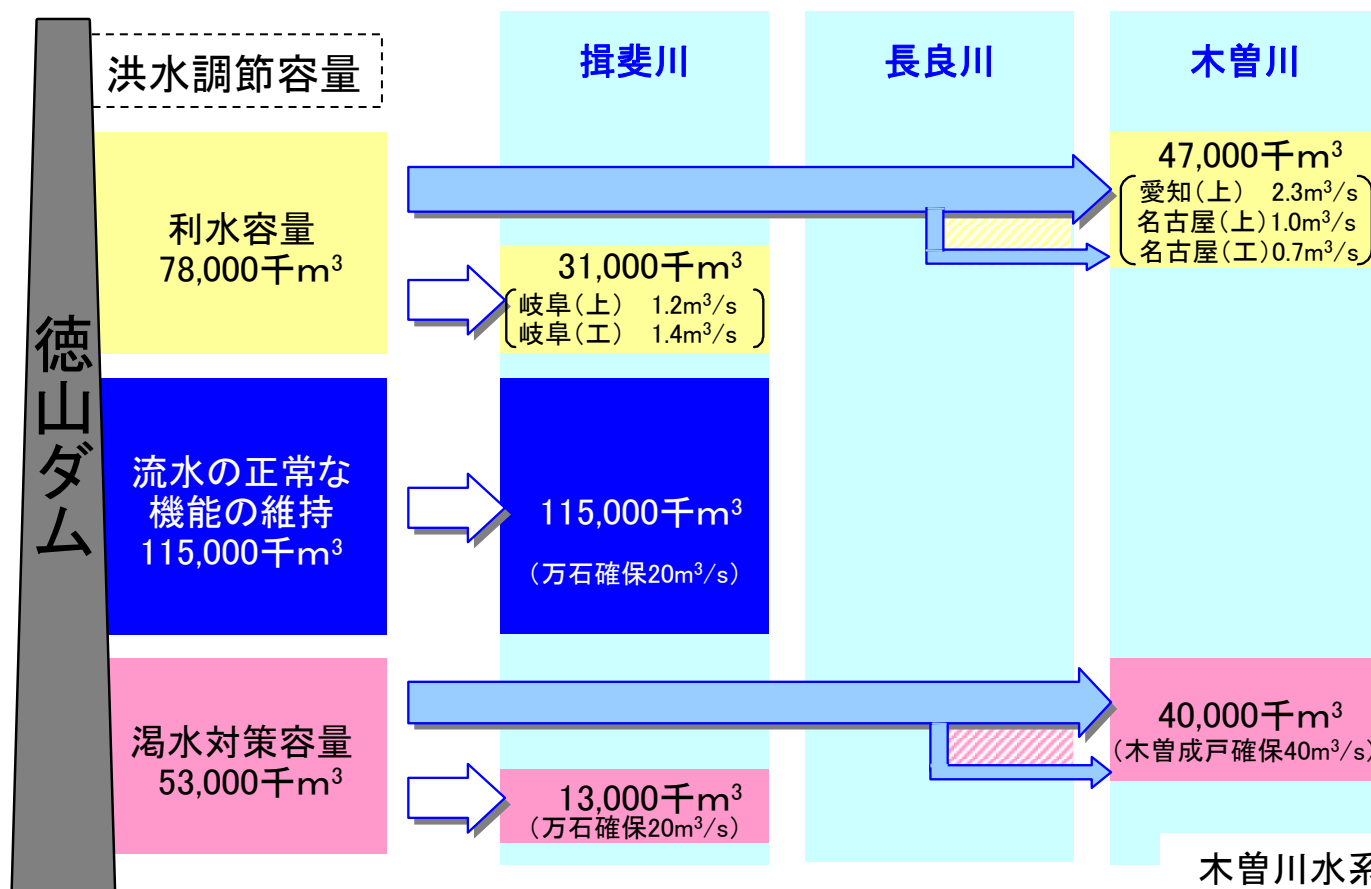
木曽川水系の異常渇水時^{*}において、徳山ダムに確保された渇水対策容量の内の4,000万 m^3 の水を木曽川及び長良川に導水することにより、木曽成戸地点で約40 m^3/s を確保し、河川環境の改善を行う。

(2) 水道用水及び工業用水の供給

利水

徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4 m^3/s 導水することにより、木曽川で取水できるようにする。

^{*} 異常渇水時 … 10年に1回程度発生する規模の渇水より厳しい渇水。具体的には各ダムに確保された流水の正常な機能の維持のための水が無くなってしまう時。



木曽川水系連絡導水路事業の計画概要

導水路のルート

導水路は、地形・地質上の制約、経済性、河川流況改善区間延長及び利水供給可能区域等から、揖斐川西平ダム付近から木曽川坂祝地区に導水することを基本とする。

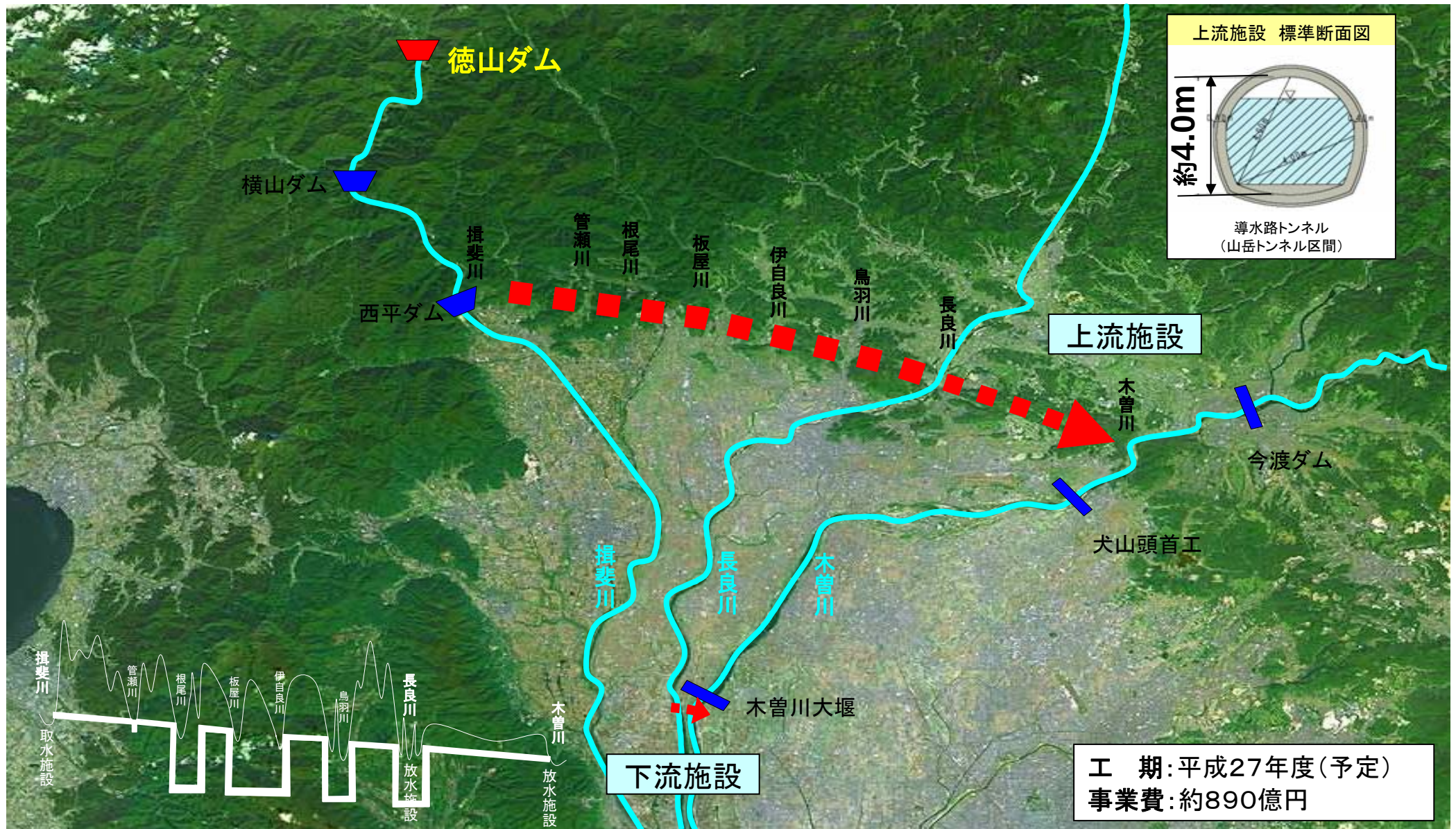
また、長良川中流部の河川環境の改善及び事業費の軽減を図るため木曽川への導水の一部を長良川を経由するものとする。



水路延長等

上流施設 L=約 4.3 km Q=15.3~20 m³/s
下流施設 L=約 1 km Q=4.7 m³/s

木曽川水系連絡導水路のルート



渇水が頻発する木曽川

木曽川に係る用水では、平成になって以降19回の取水制限(節水)を実施している

渇水 発生 年度	取水制限期間												最高取水制限率 (%)		
	期間											日数			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		上水	工水	農水
H2												32	10	20	20
H4												51	10	20	20
H5												27	15	20	20
H6												166	35	65	65
H7												213	25	50	50
H8												29	20	20	20
H9												7	5	10	10
H11												9	5	10	10
H12												78	25	50	65
H13												143	20	40	40
H14												75	20	40	40
H16												33	15	30	30
H17												176	25	45	50

：実際の取水制限実施期間

H6渇水被害(河川環境の悪化)

河川水質、シジミへの影響



H6渇水時には、木曽川大堰からの放流量がほぼ0m³/sまで減少し、シジミの斃死等が発生

朝日新聞 平成6年7月8日

流量減り河川の水質も悪化

中部地域が八日連続した大雨で、渇水に喘ぐ木曽川、長良川の流量が激減。河川の水質も悪化。渇水に喘ぐ木曽川、長良川の流量が激減。河川の水質も悪化。渇水に喘ぐ木曽川、長良川の流量が激減。河川の水質も悪化。

伊勢新聞 平成6年8月23日

シジミ生育

毎秒50トン放流維持

桑名 漁協組 水資源公団に要請

【桑名】鈴鹿地区の五箇協で構成する会合桑名漁協組合(古河村)は、水資源公団に要請し、木曽川大堰からの放流量を毎秒50トンに維持するよう求め、同協連は、渇水相模は、下流部では水質の悪化が懸念され、渇水に喘ぐ木曽川、長良川の流量が激減。河川の水質も悪化。渇水に喘ぐ木曽川、長良川の流量が激減。河川の水質も悪化。

岐阜新聞 平成6年8月13日

水細る長良川

歩いて渡れる 瀬が随所出現

岐阜新聞 平成6年8月13日

ライン下りも取りやめ

水不足の中止 開業以来初

岐阜新聞 平成6年8月29日

岐阜新聞 平成6年7月14日

長良川鵜飼にも影響シワリ

50人乗り観覧船 流量減り 浅瀬上れず

岐阜新聞 平成6年7月14日

この記事は各新聞社の許諾を得て転載しています。

H6渇水被害(市民生活・社会経済活動への影響及び地盤沈下)

上水、工水への影響

中日新聞 平成6年8月11日

中日新聞 平成6年8月12日夕

平成6年8月22日朝日新聞

ジ ャ パ ン
エナジー知多

工業用水を輸入

ベトナムから 20日すぎ第一便

石油大手のジャパンエナ
ジー（本社、東京都港区）
は十二日までに、異常高水
で不足した薬用水を確保
するため、ベトナムなど南
知多製油所の原油処理能

薬用水は通常、三千リットル使っている。水は愛知用水から確保し、所内で再利用もしているが、七月中のうちに水を買ひにいく。水は運搬に利用するタンカーは通常、重油などの製品を運ぶのに使っている。水は愛知用水から確保し、所内で再利用もしているが、七月中のうちに水を買ひにいく。

工業用水を輸入

日新聞 平成6年8月13日

東海市の飲料水メーカー

ボトルが洗えない 水
ライン動かせない 力

[illegible][illegible]

15日にも19時間断水

愛知・東濃用水 節水強化を想定

水防衛も限界

企業は軒並み操短

消防ヘリ「水がない」

3が所目、やっとあった

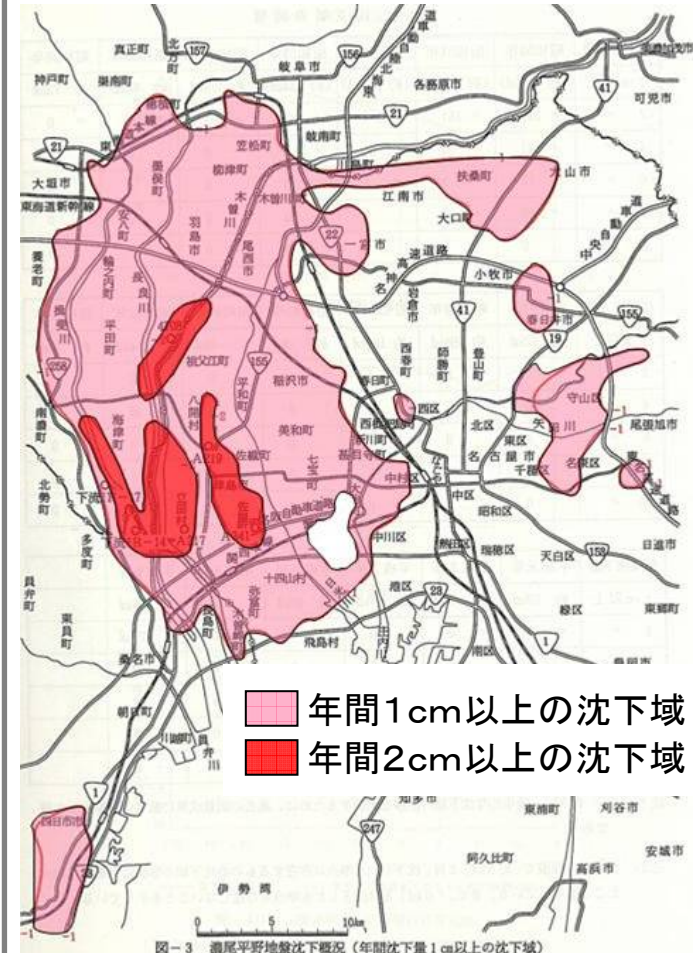


図-3 濃尾平野地盤沈下概況(年間沈下量1cm以上の沈下域)

出典：平成6年における濃尾平野の地盤沈下の状況（平成7年8月・東海三県地盤沈下調査会）に中部地方整備局が着色加筆

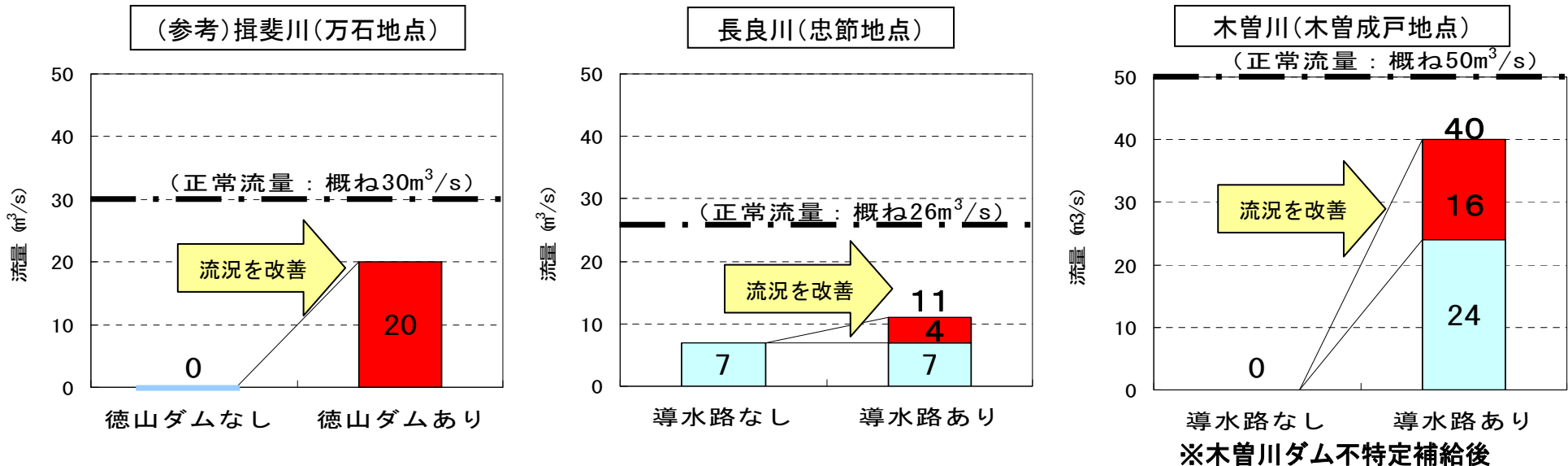
木曾川水系連絡導水路事業一6

この記事は各新聞社の許諾を得て転載しています。

河川環境の改善効果(異常渇水時)

【異常渇水時における流況の改善状況】

※平成6年規模の渇水を対象にシミュレーション



1. 瀬切れの防止

渇水対策容量に確保された緊急水を木曽川に16m³/s(その内、4m³/sは長良川経由)導水することにより、平成6年に木曽川で発生したような瀬切れを防止する。

2. 渇水による動植物の生息・生育環境への影響の改善

(1) アユ等

木曽川に導水することにより、中流部のアユ等の産卵場で必要と考えられる流量を確保する。

(2) ヤマトシジミ

平成6年に木曽川で発生したようなヤマトシジミの斃死等の現象が改善される。

3. 渇水による河川の水質悪化の改善

平成6年に木曽川及び長良川で発生したような水質悪化を改善する。

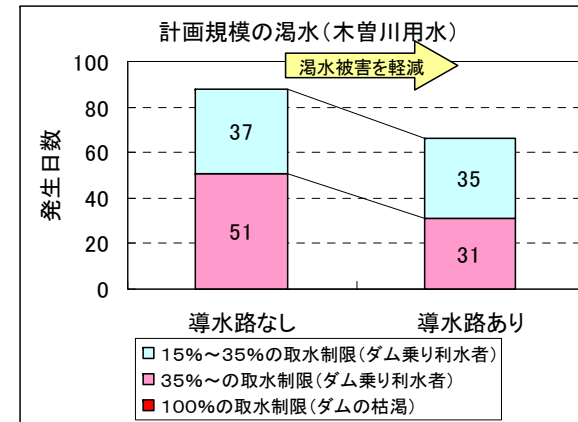
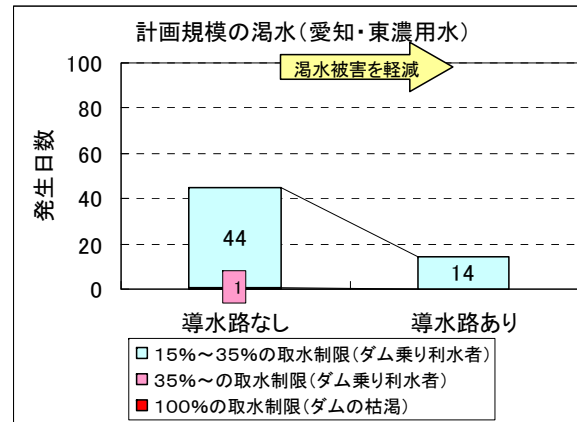
渇水被害(都市用水)の軽減効果

【渇水時における被害の軽減効果】

※昭和62年及び平成6年規模の渇水を対象にシミュレーション

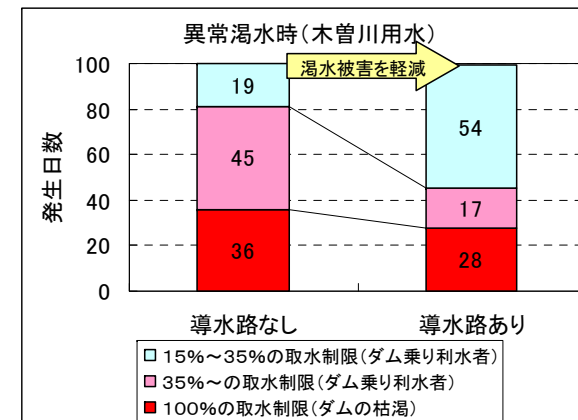
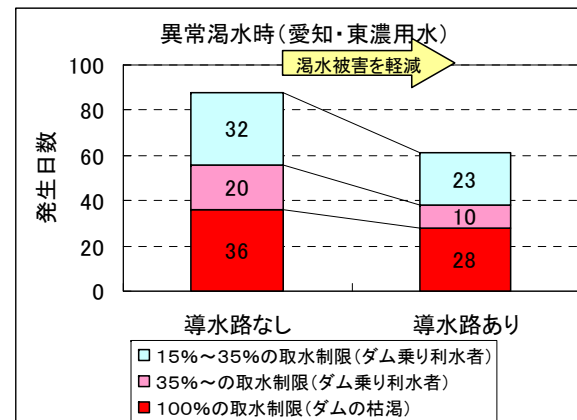
(1) 計画規模の渇水(近年の20年に2番目の渇水年(昭和62年))の場合

- 例えば木曽川用水に係る水道用水において断水を生じるおそれがある35%以上の取水制限が51日間から31日間へと軽減される。

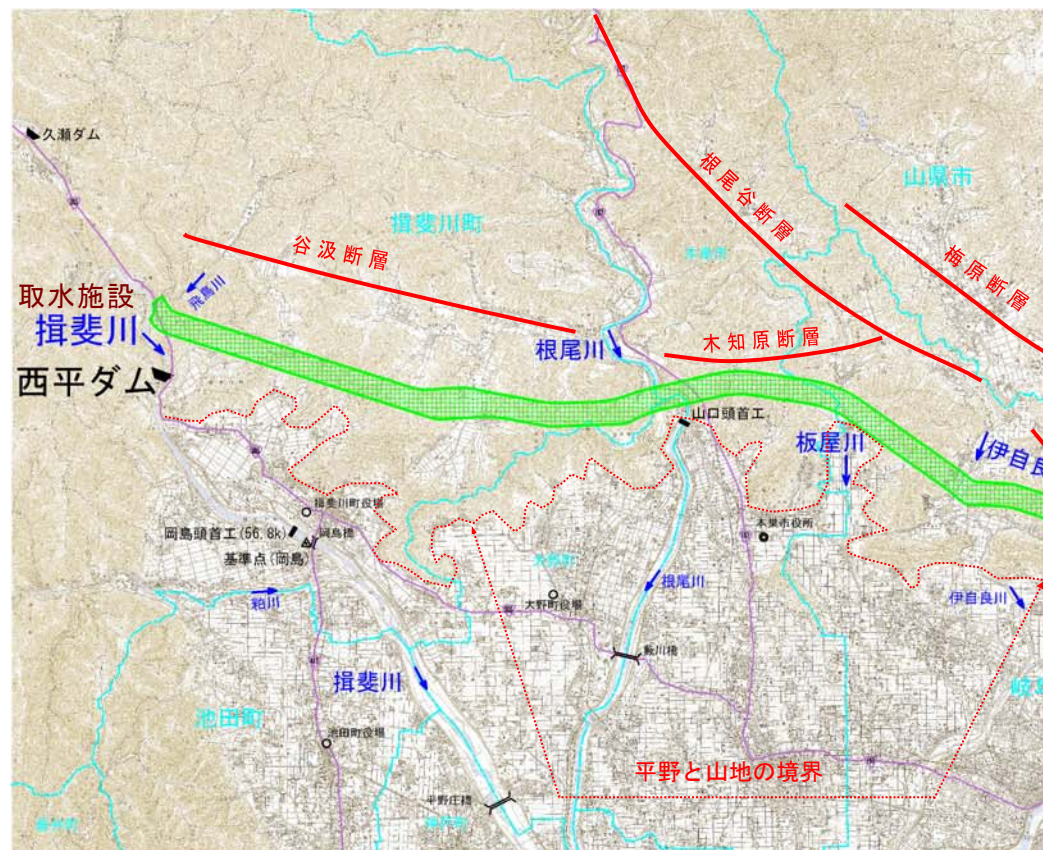


(2) 異常渇水(近年で最大の渇水年(平成6年))の場合

- 木曽川上流ダム群の枯渇日数が36日間から28日間へと軽減されるとともに、例えば木曽川用水に係る水道用水において断水を生じるおそれがある35%以上の取水制限日数及びダムの枯渇日数の合計が81日間から45日間へと短縮される。



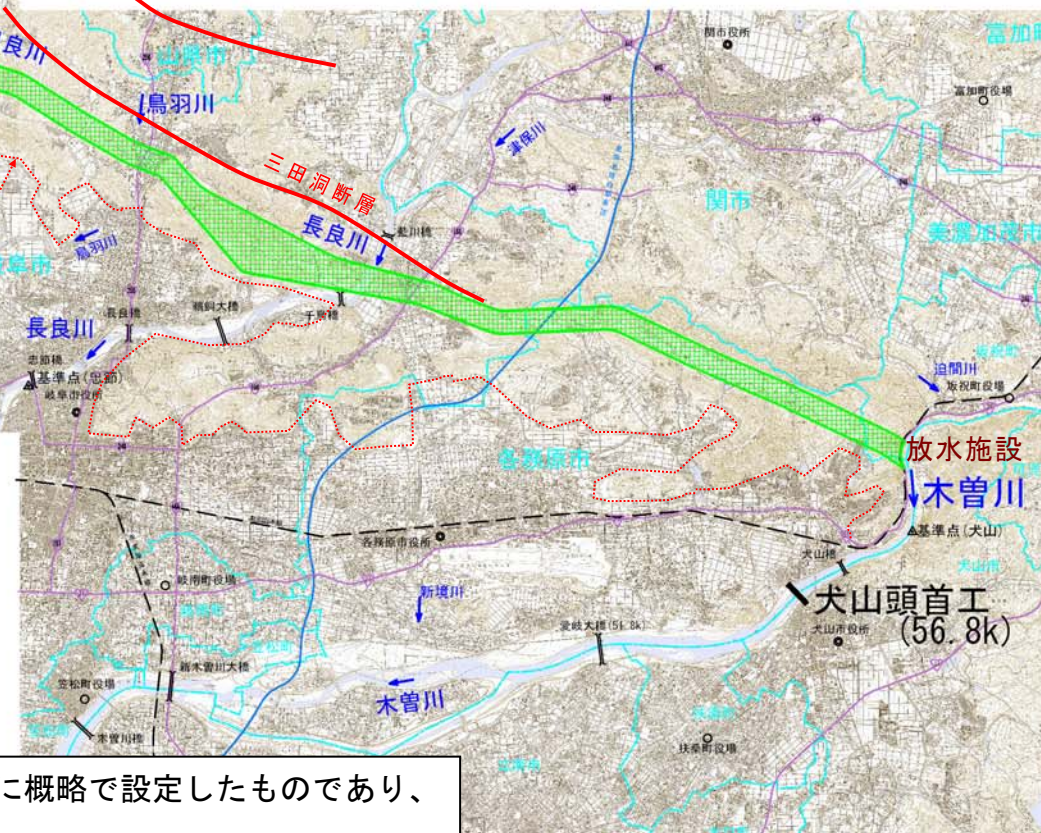
連絡導水路(上流施設)検討区域の考え方



連絡導水路(上流施設)検討区域の考え方

- ① 揖斐川の取水施設は、西平ダム上流
- ② 木曽川の放水施設は、犬山頭首工の上流
- ③ 断層との交差は避ける
- ④ 市街地への影響を少なくするため、平野を避けて山地部とする

凡 例	
連絡導水路(上流施設)検討区域	
第4紀断層(活断層)	



※連絡導水路(上流施設)検討区域は、これまでの調査・検討をもとに概略で設定したものであり、今後の調査・検討により変わることがあります。

連絡導水路(下流施設)検討区域



木曽川水系連絡導水路事業における環境調査・影響検討の方針等

（方針）

木曽川水系連絡導水路事業を進めるにあたっては、地元から提出された意見も踏まえ、環境影響評価法に基づく環境影響評価と同等の技術レベル*の環境影響検討を行って参ります。

（体制等）

木曽川水系連絡導水路に関する環境調査は、環境検討会（H18.3 設立）における審議を踏まえて実施しているところではありますが、今後の環境影響検討に関しても、引き続き本検討会で審議をいただきながら実施して参りたいと思います。

なお、本検討会は公開で実施し、その検討結果等については原則として公表いたします。

（意見の聴取等）

環境影響検討の結果については、「環境レポート（仮称）」（案）をまとめ、関係する地域の方々や関係県知事からこれに対する意見を聴くこととし、提出された意見についての事業者の見解を合わせて「環境レポート（仮称）」を公表することとします。

なお、検討項目及び方法について、中間報告という形で公表することとします。

*「法に基づく環境影響評価と同等の技術レベル」とは

「ダム事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成十年六月十二日厚生省・農林水産省・通商産業省・建設省令第一号）の第六条（環境影響評価の項目の選定）に記載されている、対象ダム事業に伴う影響を受けるおそれがあるとされる環境要素と同等の項目について影響評価を実施する。

木曽川水系連絡導水路環境検討会

連絡導水路に関する環境調査は、環境検討会における審議を踏まえて実施中であり、今後の環境影響検討に関しても、引き続き本検討会で審議していただきながら実施する。

◆設立目的

検討会は、木曽川水系連絡導水路事業の実施に際し、関係地域における水環境や生物生息生育環境等に係わる現況の把握、影響と予測の評価について審議し、事業の適切な実施に資することを目的とします

◆環境検討会委員名簿

(五十音順(座長を除く)・敬称略)

氏名		所属	専門分野
座 長	藤田 裕一郎	岐阜大学 流域圏科学研究センター 教授	河川
委 員	小笠原 昭夫	名古屋学芸大学 短期大学部 非常勤講師	鳥類
	梶浦 敬一	ぎふ哺乳動物研究会	哺乳類、 爬虫類・両生類
	駒田 格知	名古屋女子大学 家政学部 教授	魚類、底生動物
	西條 好迪	岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授	植物
	佐藤 健	岐阜大学 工学部 教授	地質・地下水
	関口 秀夫 ^{※1}	三重大学 生物資源学研究科 招へい教授	底生動物
	野平 照雄	自然学総合研究所 研究員	陸上昆虫類
	松尾 直規	中部大学 工学部 教授	水質

※1. 第3回検討会からの委員

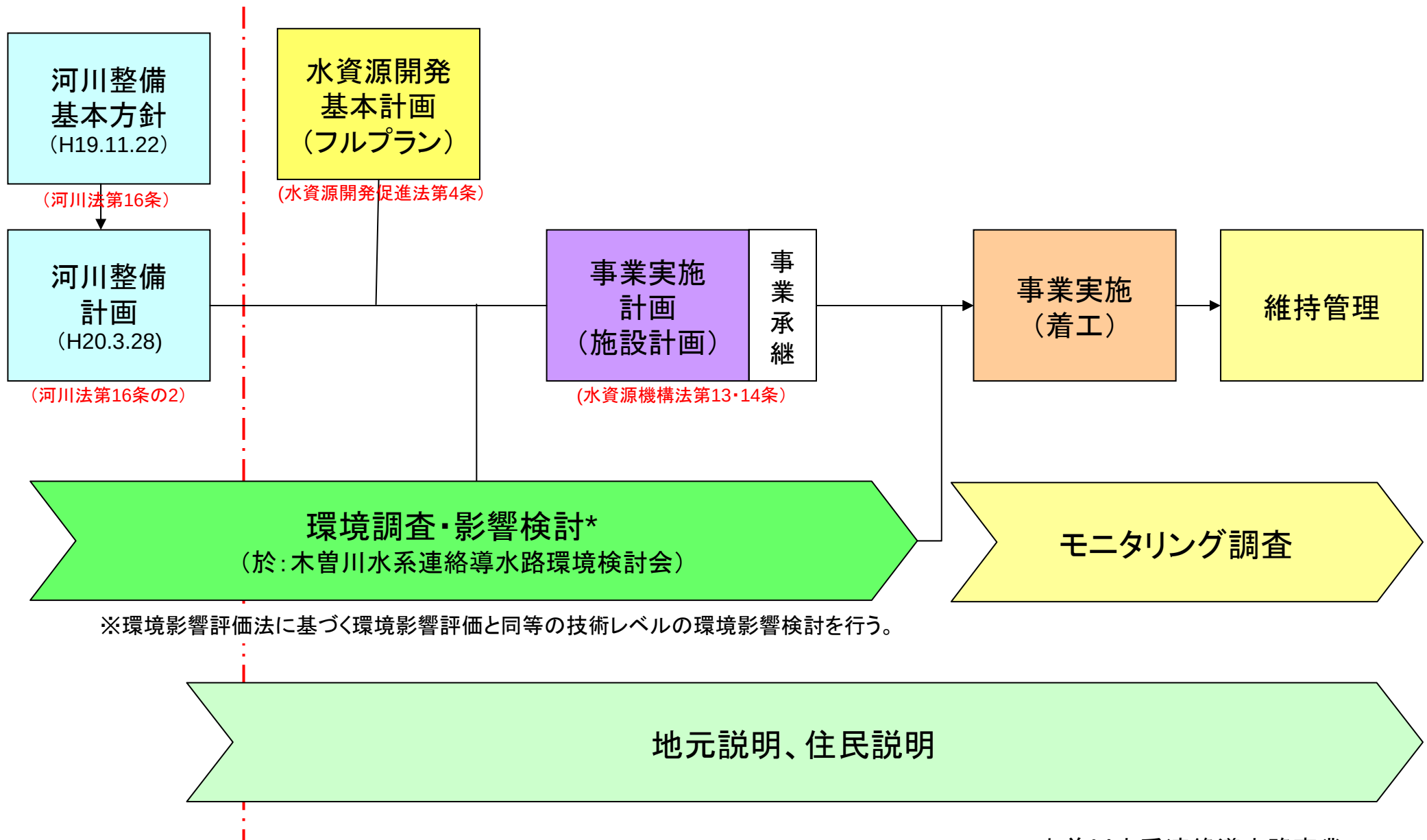
木曽川水系連絡導水路環境検討会

◆開催状況

回数	開催日	主な議事内容
第1回	H18. 3. 6	事業方針の説明、環境検討の項目選定及び調査地域(上流施設)の設定。 【主な指導・助言の内容】 ・放水箇所混合状況を確認すべき。 ・魚類等の迷入による交雑が懸念される。
第2回	H19. 3. 9	文献、秋季調査結果及び環境影響検討の概要。 【主な指導・助言の内容】 ・工事中の大気環境、周辺騒音等についても検討すべき。 ・放水箇所混合状況を確認すべき。 ・事業進捗段階に応じた地下水流動系について3次元解析を行なうべき。 ・生息が確認されている希少猛禽類の行動圏を把握すべき。
第3回	H19. 12. 13	調査結果、環境影響検討の概要、調査地域(下流施設)設定。 【主な指導・助言の内容】 ・地下水のシミュレーションでは、ボーリングの地点数を増やして精度を上げるべき ・水質の調査計画は、渇水期に近い状況を想定して実施すること。 ・揖斐川、長良川から外来種が迷入するのではないか。
第4回	H20. 4. 24	調査の結果報告、今後の計画検討。 【主な指導・助言の内容】 ・予測・評価地域は全体を見据えた中で更に、改変する地域を集中的に実施すること。 ・水質シミュレーションの妥当性確認のため、実績値の再現性について確認すること。 ・地下水シミュレーションは、近傍の地下水データを収集、補完することが必要。 ・鳥類はサシバ、夜鳥の確認もすること。 ・渇水時の下流水質データは、下げ潮だけでなく上げ潮も実施すること。

木曽川水系連絡導水路事業の今後の進め方

H20.6.1現在



参考資料

①環境影響検討の項目

環境影響検討の項目

影響要因の区分 環境要素の区分			工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用		
			取水施設・導水路 トンネル等の工事	建設発生土の 処理の工事	取水施設 ・導水路等の存在	取水施設 ・導水路等の供用	建設発生土 処理場の跡地の存在
大気環境	大気質	粉じん等	○				
	騒音	騒音	○				
	振動	振動	○				
水環境	水質	土砂による水の濁	○			○	
		水温				○	
		富栄養化				○	
		水素イオン濃度	○			○	
	地下水の水質及び水位	地下水の水位	○		○		
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質			○		○
動物	重要な種及び注目すべき生息地		○		○		
植物	重要な種及び群落		○		○		
生態系	地域を特徴づける生態系		○		○		
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○		○
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○		○		
廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○				

○は、環境影響検討の項目として選定する項目を示す。

生態系では、迷入(特定外来生物の拡散を含む)についても検討する。

アユは、木曽三川を特徴づける代表的な種として、動物で取り扱う。

環境影響検討の項目については、今後の検討により変更する可能性がある。

参考資料

②上流施設検討区域図(市町別)

導水路(上流施設)検討区域(揖斐川町周辺) 1



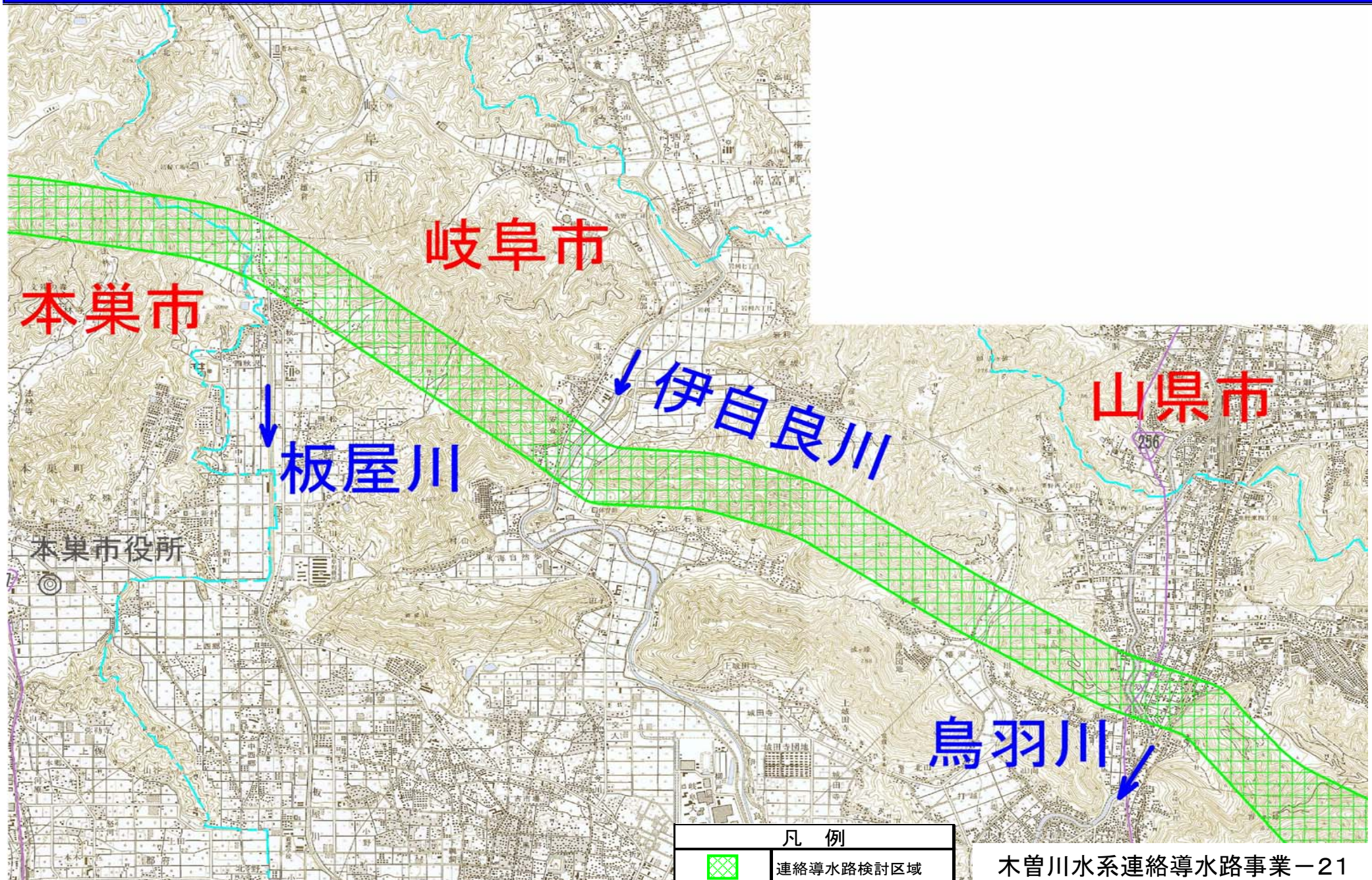
導水路(上流施設)検討区域(揖斐川町周辺)2



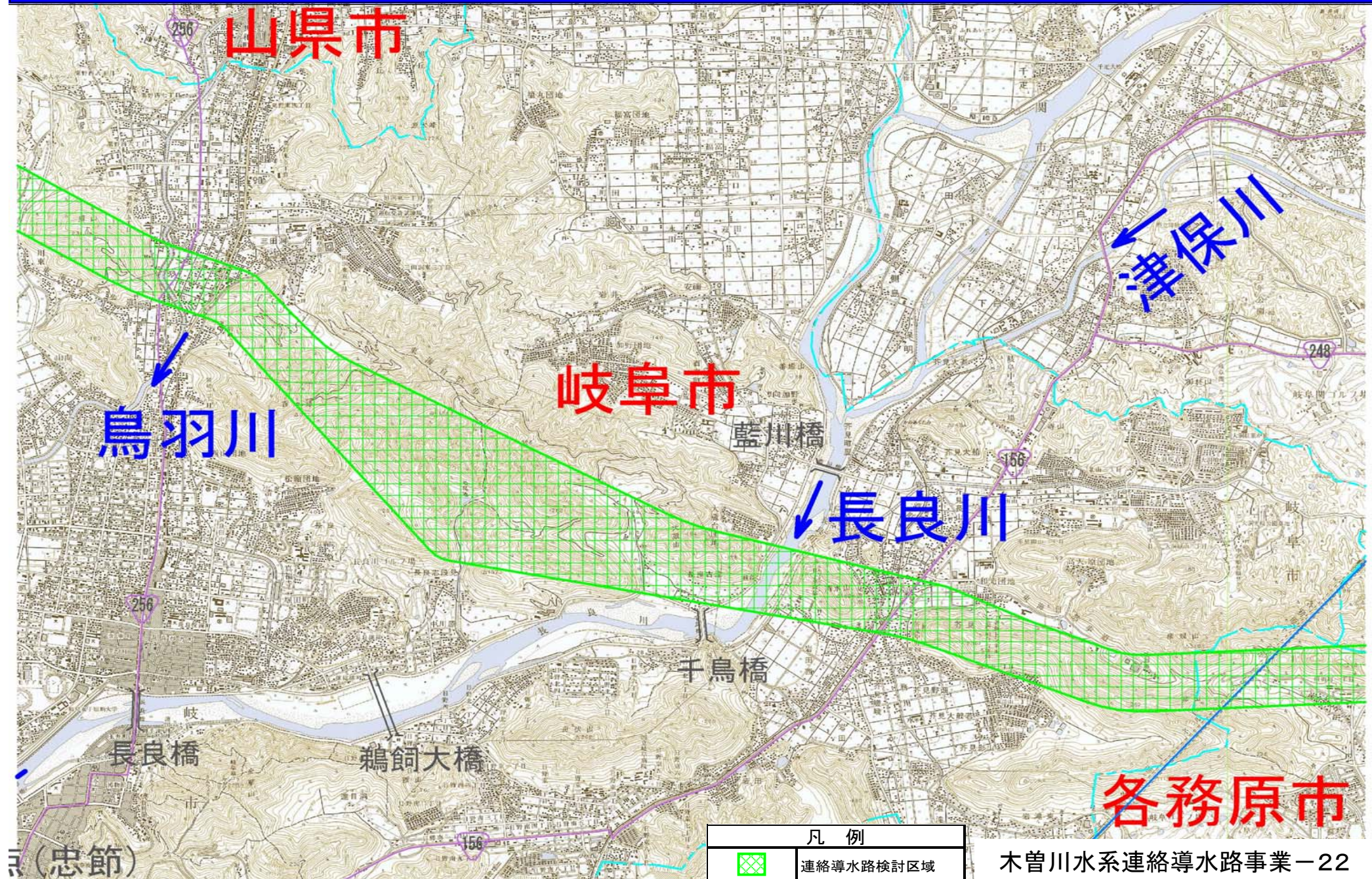
導水路(上流施設)検討区域(大野町、本巢市周辺)



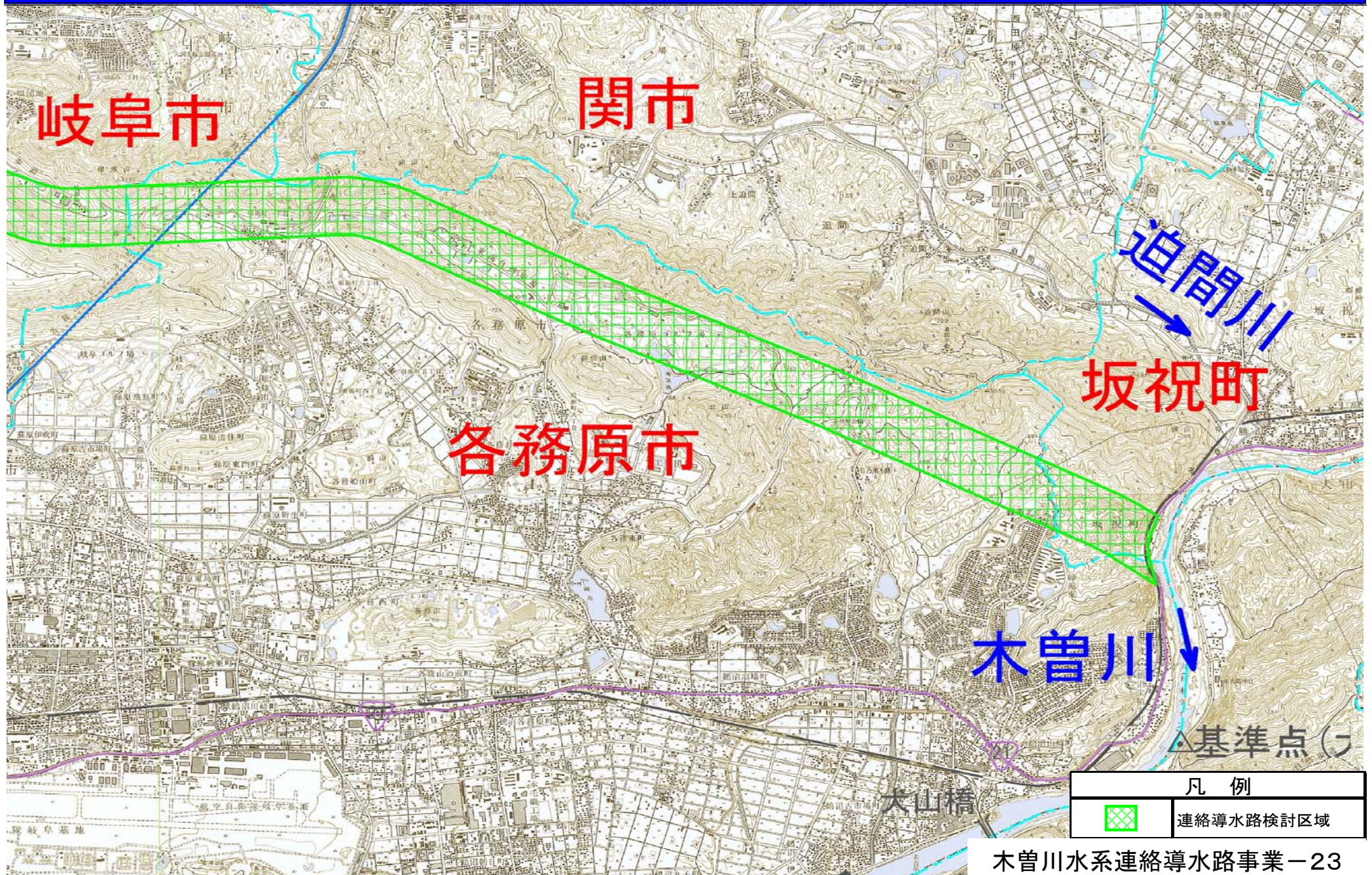
導水路(上流施設)検討区域(岐阜市周辺) 1



導水路(上流施設)検討区域(岐阜市周辺)2



導水路(上流施設)検討区域(各務原市、坂祝町周辺)



NPO法人 魅力発見木曽三川 ご紹介！

木曽三川の魅力を伝えたい！

私たち「NPO法人 魅力発見木曽三川」は、木曽三川下流域の特長や魅力を発見し、広く伝える活動を行っています。私たちはこうした活動を積み重ねることにより、人々がふるさとを思い育む意識が高まり街づくりの推進が助長され 地域の発展に寄与できると考えています。

四季を通じて三川を巡り、発見した魅力は写真に撮って編集し、「パネル展示」や「広報写真展」によって地域に広く発信しています。展示は公園等の公共施設を使い 遠くからこの地域を訪れる人々にも木曽三川を知っていただけるよう広報しています。

初夏のギロ池、ハスの新葉が出てきた、



大切にしたい背割り堤のさくら、来春も！

木曽三川下流域、どこまでも続く大きな流れと季節の花々に彩られた公園、遮るものがない広い空、自然を育む河川林やヨシ原、豊かな恵みを生み出す広い田畑、そして三川の流域をふるさととして住まう人々の大切な街があります。そこには水郷特有の治水の歴史と人々によって護られ培われてきた文化や新古の名跡・構築物が点在し、それらがよく調和してあちこちに趣と美しさをもった景観が見られます。

河川フィールドでは漁りに励む人々や公園の催しに集い、川辺を散歩し、自由に遊ぶ人々がいます。鳥の声が響き、魚が跳ね、虫たちが生きています。

5月も後半、野あざみが堤防を彩る



活動の経過と実績

平成15年5月18日	木曽三川夢の郷プロジェクト魅力発見分科会 発足 下流域の魅力発見(写真撮り、収集)の活動をはじめる
平成16年4月10日	新魅力発見分科会 立ち上げ、会員による魅力発見写真を撮る活動本格化 定例分科会(月1回第一土曜)で編集し、各施設へ写真パネル展示開始 以降、4年以上にわたって繰り返し展示を継続 (自主)
平成16年9月	「ヨシ原会議」会場にて初の広報写真展を行う
平成17年4月12日～4月17日	「木曽三川の魅力を伝える写真展」木曽三川公園センター (協働)
平成17年5月8日	木曽三川夢の郷を育む会 魅力発見グループ となり活動継続
平成17年7月14日～7月15日	「河川環境メッセin岐阜」会場にて写真展示 (自主)
平成17年8月21日	「流域交流イベント」(郡上市にて) 広報写真担当にて参加 (協力)
平成17年8月29日～9月4日	「世界ポート選手権」(長良川にて) 広報写真担当にて参加 (協力)
平成18年5月27日	「カメラを使った流域作り講習会」に参加協力

平成18年7月21日～8月24日	「木曽三川の魅力を伝える写真展」 木曽三川公園センター	(協働)
平成18年9月9日～12月24日	「木曽三川の魅力を伝える写真展Ⅱ」 水郷パークセンター	(自主)
平成18年12月2日	魅力発見グループのNPO法人化に向け、設立総会開催	
平成19年4月12日	NPO魅力発見木曽三川 発足、法人登記完	
平成19年4月10日～5月10日	「パークセンターたんぽぽまつり」に協賛 “黄色。”の写真展	
	記念写真に協力・その場プリントの提供	(自主)
平成19年7月20日～8月20日	「木曽三川の魅力を伝える写真展」 水郷パークセンター	(協働)
平成19年8月21日～9月2日	「木曽三川の魅力を伝える写真展Ⅱ」 桑名市 遊 館	(協働)
平成19年10月13日～10月27日	「木曽三川の魅力を伝える写真展Ⅲ」 津島市民病院	(協働)
	「パークセンターハロインまつり」に協賛 去年の祭り写真展	(自主)
平成19年12月9日～平成20年1月19日	「木曽三川冬の彩り写真展」 水郷パークセンター	(自主)
平成20年2月20日～平成20年3月20日	「冬の使者ノコハクチョウ写真展」水郷パークセンター	(自主)
平成20年3月21日～平成20年5月18日	「木曽三川春の彩り写真展」 水郷パークセンター	(自主)



写真展、訪れた住民に場所などの説明



三重会場 桑名市ふれあい学習館ギャラリーで

私たちは 魅力発見・写真展示による広報活動のほか 次のような活動も行っています。

◎ 地域についての学習、説明、案内をする催しを企画し、実施する活動



子どもたちと水生生物調査、楽しく真剣に



夏休み、調査に集まった子どもたち

◎ 流域の自然環境を観察・研究し、ヨシ原や河川林を育成し、活用する活動



水郷の森での自然観察会、草花と虫と鳥と魚と、出会い



ヨシ原の再生、ヨシ植え体験会 に集まった人々

- ◎ 子どもたちに、地域の文化や治水の歴史、水施設の働きなどを教える活動
- ◎ 文化財や名跡の存在を知らせ、保護を助ける活動



船頭平閘門からの筏くぐりイベントに協賛、ヨシ舟を、



魅力の写真にはあちこちの名跡を紹介exケレップ水制

私たちは なかま(会員)を募り、協働事業者を求めています！

私たちと一緒に活動しませんか！
 会員になってください。
 かけがえのないこのふる里を
 「安全で魅力的な夢の郷」として
 育んでいくために、。

連携・協働の事業として
 私たちNPOを参加させてください！
 街づくりの意識(こころ)が たかまり
 地域の発展につながります、。

NPO法人魅力発見木曾三川

三重県桑名市長島町大倉1番地 126

(事務局・連絡先) 愛知県稲沢市 090 3834 4546 いう



平成20年5月末 みのりの季節です。麦秋、海津市にて

ご意見用紙

今日は、木曽三川ふれあいセミナーにご参加いただきましてありがとうございました。

今回初めてこのようなセミナーを開催させていただきましたが、いかがでしたか。

木曽三川の川づくりに関してご意見がある方は、この用紙にご記入いただき会場のご意見箱へ入れてください。

また今後も引き続き、このようなセミナーを開催したいと考えていますので、改善すべき点などございましたらあわせてご意見いただければ幸いです。

1. 木曽三川の川づくりに関して、どのようなことでも結構ですので、自由にご意見をご記入下さい。

[illegible]

2. 木曽三川ふれあいセミナーの運営などで改善する点などありましたら、自由にご意見をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。